第316号　2017年4月1日

らくえん

春号

社会福祉法人 富山聖マリア会
特別養護老人ホーム 常楽園
富山聖マリア保育園
富山市民病院院内保育所

「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。だれでも、求める者は受け、探す者は見つけ、門をたたく者には開かれる。あなたがたのだれが、パンを欲しがる自分の子供に、石を与えるだろうか。魚を欲しがるのに、蛇を与えるだろうか。」　（マタイによる福音書　7：7－10）

新年度を迎えて

特別養護老人ホーム常楽園
施設長　城石　芳人

すでに多くの方々への周知がなされていることと思いますが、今般の地域包括ケアシステムの浸透によって、常楽園のような特別養護老人ホームへの入所のハードルが高くなり、要介護度３以上の認定を受けた方々でなければ、新規入所がかなわなくなりました。

この制度の意味するところは、益々加速しつつある介護報酬の増大により、2000年に始まった介護保険制度自体の行き詰まりを生じ、極力支出を抑え、収支均衡は計れなくとも何とか赤字の拡大を防ごうということにあります。

しかしながら私たちの周囲を見渡すときに実感として気づくことは、かつてのように三世代同居があたりまえの時代であれば、舅や姑の面倒を嫁や子が看ること、祖父母が孫の送り迎えや見守りなどの協力をすることは普通に行われて来たことですが、子が独立して別居し、孫が県外で進学・就職をすることが日常茶飯事になって来ている現状に鑑みれば、高齢の方々で日常生活が「自立度」の問題として困難になりつつある方々に対しては、現実に受けとめ難い制度なのではという気がしています。

勿論、三世代が同居してかつてのように家族同士で互いに支え合う関係作りを回復する努力はしつつも、これほど個の確立と自立があたりまえの時代になり、一度限りの人生をそのひとなりに築いていくことが当然の時代にあっては、父母やおじいちゃんやおばあちゃんの介護のために、自分の進路を断念することは極めて困難になって来ていると思います。

私たち特別養護老人ホームとして出来ること、なすべきことは、地域活動などによって、在宅での「介護力」向上の支援をしつつも「終の棲み処」として私たちの施設を選んで頂いたご家族の方々の心底からの要望に誠実にそして着実に応え、実態としてご自宅での介護が困難な方々への声に耳を傾けて行くことではないかと感じている次第です。

過年度は、感染症の広がりや職員体制の充分な確保が出来ないことなどにより、この地域の介護に欠ける方々の受け入れについて、住民の皆様のご期待に沿えない状況に陥りました。新年度はそうした状況を回避するために、感染症の予防策や対応策の充実と中途採用の職員への更なる働きかけによって改善を計りたいと考えています。皆様からの一層のご協力を心より願うものです。新年度も引き続き宜しくお願い申し上げます。

４Gバンド演奏会（ひだまりホールにて）

園行事「井原アヤさん 100 歳のお祝い」

３月３日にあすなろグループ入所者の井原アヤさんの百歳のお祝いを行いました。
ご家族さん見守りの中、県・町から表彰状・記念品贈呈やグル-プからはお祝いのケーキ・花束・メッセージボードをプレゼントしました。

ご家族の皆様と

あすなろ職員の皆さんと

ホーム　池田 枝折（介護士）

保育園だより「待ちに待った年長組！」

年長児としての１年が始まりました。憧れのすみれ組になった子どもたち。ちょっぴりソワソワしながらも喜びで胸がふくらんでいます。みんなと一緒に活動することが大好きで、ルールを決めたりアイディアを出したりしながら、いつも全力で楽しんでいます。

子どもたちの中で流行っているのは「鬼ごっこ」。ダイナミックに遊びながら、友だちと触れ合い、つながりを深めています。

園生活最後の年となるので、たくさんの友だちと経験や思い出を作れるよう１日いちにちを大切に過ごしてほしいと思います。

すみれ組のみんな

幼保連携型認定こども園　富山聖マリア保育園　藤井 弓子（保育士）

常楽園　嚥下外来について

平井 容子（看護師　医務リーダー）

常楽園では、月に一度内科の専門の医師、看護師の嚥下外来の往診にて来ていただき、受診の必要な方に受けていただいております。

嚥下外来とはどのような外来でしょうか？

若い頃は当たり前に呑み込めていた食事も、身体の老化と共に舌の動きが悪くなったり、唾液の減少など様々な理由により徐々に呑み込みが悪くなることがあります。（嚥下障害）

嚥下障害では気管に食事が入り込み肺炎を起こすなど大きな病気の原因にもなりかねません。

その呑み込みの様子を診察、検査していただき、その方個人にあった食事時の体位、角度、食事の形態を指導、助言していただくことができるのが嚥下外来です。

園では、嚥下外来の導入により、誤嚥による肺炎の減少に大きく役立っています。

常楽園では助言をもとに、安全に食事を食べていただけるよう、これからも配慮していきます。

ショートステイコラム
「春の陽気が待ち遠しい今日この頃」

ハッケヨイ、のこった

ショートステイ　木下 一恵（介護士）

デイサービスコラム
「春を感じて いざ！スタート」

「どこか～で春が生まれ～てる♪」と、歌声が聞こえてきます。

常楽園の庭には、桜が満開となります。今年度も個々に合った入浴、レクリエーションを楽しんで頂きたいと思います。私たちが、お手伝い致します。

ご利用者様の
素晴らしい作品

お雛様とお饅頭

綺麗な
お花を前に
ご馳走！

デイサービス　橋本 美智子（介護士）

おたのしみ予定表

【 4月】
- 4日(火)　お菓子作り(羽柴悦子さん)
- 17日(月)　歌の広場(加藤與志子先生、進士京子先生)
- 18日(火)　三味線演奏(土肥正彦さん)
- 21日(火)　ショッピング(上市町赤十字奉仕団)

【 5月】
- 15日(月)　歌の広場(加藤與志子先生、進士京子先生)
- 22日(月)　三味線演奏(土肥正彦さん)

ありがとうございます　(敬称略)

ボランティア　1・2月
加藤興志子さん・進士京子さん(歌の広場)、羽柴悦子さん(お菓子作り)、
土肥正彦さん・吉田京子さん(三味線演奏、舞踊)、
ヘルスボランティアの皆さん(ガーゼたたみ、タオルたたみ)、菅原美穂子さん(洗濯物たたみ)、
廣瀬康夫さん(送迎、洗濯物たたみ)

物品ご寄付　1・2月
飯田ひとみさん、碓井チヨエさんご家族、山本與市さん、柳瀬範子さん、富山善意銀行さん、
古西ミサヲさんご家族、神田米雄さん、吉田幸江さん、柴文昭さん、青木武志さん、岡田信夫さん、
本江勗さん

現金ご寄付　1・2月
林義忠さん、富山聖マリア教会、城石芳人　(以上合計 77,000 円)

日英交流コンサート

日英音楽協会創設２５周年記念日本公演の一環で
富山聖マリア教会で下記の通りコンサートを開きます。
お誘い合わせてお越しください。

と　き：2017年4月17日(月) 午後7:00 開演 (午後6:30 開場)
ところ：富山聖マリア教会(富山市星井町２－６－５)　入場料：1,000 円

…… 編集後記 ……

「その日、その時は、だれも知らない。天使たちも子も知らない。父だけがご存じである。気をつけて、目を覚ましていなさい。その時がいつなのか、あなたがたには分からないからである。」
(マルコによる福音書　13：32：33)

県ボランティアセンター運営委員会の委員として、過去３年間にわたり協議に加わって来ている。東日本、熊本と震災だけでも立て続く災害のことや福祉の分野におけるボランティア関連のことが俎上にのぼることが多い。私たちの施設でも相当数のボランティアの方々がお見えになっている現状を思うとき、受入れの責任を重く受け止め、いざという時に備える「心の養い」となればと思っている。　シロクマ

特別養護老人ホーム **常 楽 園**
〒930-0474 富山県中新川郡上市町舘209
Tel. 076(472)3993　Fax. 076(472)6967
Hp　http://www.seimaria.jp/jyorakuen/
E-mail：jyorak@seimaria.jp

幼保連携型認定こども園 **富山聖マリア保育園**
〒930-0065 富山市星井町3丁目9-1
Tel. 076(421)6962　Fax. 076(421)6939
E-mail：hoikuen@seimaria.jp

富山市民病院院内保育所
〒939-8075 富山市今泉北部町2-1